



産直ニュース（農・畜・水産）32週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
32週	枝豆④ 予約デラウェアパック①(奈良・滋賀) 予約デラウェア箱①(奈良)								
33週	予約デラウェア箱・パック①(大阪、京都)					予約デラウェア箱①(滋賀)			
34週	予約デラウェア②(!)								
	つがる(!)						巨峰(!)		
35週	予約デラウェア②(!)					二十世紀梨①(!)			
	つがる(!)						巨峰(!)		

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

■予約デラウェア(米沢郷牧場) 収穫が始まりました

32週から生活クラブ関西への出荷が始まりました。出はじめということもあり、一部生協では33週からのスタートとなります。

写真は、鈴木雄太さん。凍霜害の影響で一部芽が凍った為、展葉（葉っぱの展開）が少ない部分もあり園地はいつもより明るめです。このため、強い日差しによる陽焼けの発生があり、ひと雨欲しい状況でした。(7/31時点)

◇雀対策

園地の周りにはネットを張り、上は雨よけのビニルで覆われているのですが、隙間から雀がブドウを食べに入り込んできます。ブドウの上部に紙製の傘をつけることで鳥の食害を防いでいます。傘がある事で、上にとまってブドウをついばむのができないのですが、入り込んだ鳥はなんとかブドウを食べようと、あっちで一粒、こっちで一粒…と飛びながらでも多くの房をついばんでいきます。



←園地の一部に傘を掛けていないエリアがありました。このエリアでは写真の様に雀についばまれたと思われるブドウが並んでいました。「餌場を設けることで、ここで満足するくらい食べるので、傘のかかっているブドウには手を出さないんです。ある程度は雀にもお裾分けすることで、結果的に被害は抑えられると考えています。」と鈴木さん。

ちなみに鈴木さんは青果類担当として米沢郷牧場に勤めています。2年前から生産にもかかわりたいとデラウェアの栽培にチャレンジ。この時期、朝の4時からブドウの作業をはじめ、8時過ぎから米沢郷牧場に出社というハードな生活となっています。「しんどいけど作物を作るのは楽しいです!」と、同行した園地巡回で他の生産者と会った際にもブドウづくりの情報収集に余念がありません。